



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 11月第 1 例会 (2013.11.5) No.3016

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

11 月はロータリー財団月間であると同時に、世界インターアクト週間でもあります。まずはインターアクト活動を中心にお話したいと思います。特に本日の 11 月 5 日を含む 1 週間は世界インターアクト週間ですので、まさに時宜を得たテーマと思っています。タイトルは「インターアクト、ローターアクト、ライラをまとめて理解する」とします。

ロータリーの奉仕活動の中で、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(ライラ)、青少年交換は一番分かりづらい分野ではないでしょうか。手続要覧を見ても、目的や目標があまりにも常識的でしかも多数羅列されており、何が重要なのかははっきりしません。何をやれば良いのでしょうか。過去の事例を調べてみても皆バラバラで迷うばかりです。

最近これらの活動は今まで新世代奉仕と言われていましたが、新年度から青少年奉仕と変更されました。名称が何であれ、なぜロータリアンが高校生や青少年に奉仕をしなければならぬのか。奉仕とは何かと疑問が大きく膨らみ、まとまりがつかなくなります。この機会に一言でまとめて理解できる仕組みがないか自分なりに考えてみました。

最初に、年齢区分と英語の名称を理解するとおのずと性格が見えてくると思います。詳細は拙書「ロータリーこぼれ話」を参照いただきたいのですが、ここでは要点のみお話しします。

年齢区分ですが、世代別に分かりやすく言えば、インターアクトクラブは中学生・高校生を対象、ローターアクトは大学生又は 30 歳までの社会人を対象、ライラは中学生から 30 歳を対象にしています。しかし現実には、インターアクトは高校生、ローターアクトとライラは社会人が中心です。名称ですが、インターアクトは International Action の略です。ローターアクトは Rotary Action です。ライラは Rotary Youth Leadership Awards の略です。ここからも存在意義が見えてきます。インターアクトの設立は国際理解と国際交流を目指したと理解されます。ローターアクトはまさに青年による

ロータリー活動です。ライラはリーダーシップを発揮する人材への賞(Awards)です。

次に、「目的や目標は常識的なものばかりが多数羅列されているので、何が重要かはっきりしない」とよく言われます。これに対する解答ですが、私は次のようにまとめました。「将来ロータリー精神を持って社会で活躍できる人材を育成すること」としてはいかがでしょうか。

ところで他にもたくさんのお奉仕団体がありますので、私たちは若者に対して何をすべきか考えてみました。インターアクトでは、担当する高校の先生にロータリー精神をご理解いただくことが大事です。親睦を兼ねた会合に先生をお招きしてみたいはいかがでしょうか。ロータリアンが高校まで乗り込んで奉仕活動を行うことは現実的ではありません。

ローターアクトでは、ロータリアンと共に奉仕活動をする機会や親睦の機会を持ち、ロータリーの精神をもっと知っていただく必要があります。最後にライラですが、地域社会で奉仕活動をしている青少年を、ロータリー活動に取り込む必要があります。今までロータリー精神に触れたことがない市中の若者に対してもロータリー精神を理解していただくことが重要です。それにはライラの原点である賞(Award)と副賞を授与するのも良いでしょう。

最後にまとめをします。ロータリアンは奉仕の実践者として、また若者のメンタ的存在として、建前でなく本音で真剣に若者に接していかねばならないと思います。

(3) ゲストの紹介

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部ボランティアセンター
学生ボランティアコーディネーター

・狩谷 順子さん(福祉心理学科 1 年)

・高橋 摩吏さん(福祉心理学科 1 年)

・谷江 聖奈さん(福祉心理学科 1 年)

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部ボランティアセンター

副センター長 中野 充氏(新潟青陵大学福祉心理学科准教授)

(4) 新潟青陵大学中野 充准教授と学生のお話



- (5) 劉 天萍挨拶・奨学金贈呈
- (6) 100%出席バッチの贈呈
小林 敬直君 22年
- (7) 誕生日お祝い贈呈(7名)
- (8) 結婚記念日お祝いの紹介(14名)
- (9) 委員会報告

・内田直紀IA副委員長よりIA献血活動協力金のお願い。

(10) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

樋熊 紀雄君 岡村 健吉君
小林 敬直君 得永 哲史君

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

小林 敬直君 田村貫次郎君

青少年育成基金寄付発表(若槻 良宏幹事)

小林 敬直君

(11) ニコニコボックス紹介

- ・敦井 栄一君 11月1日で新潟商工会議所の会頭職を2期6年務め、退任いたしました。皆様には何かと御協力を賜り無事終えることが出来ました。ありがとうございました。
- ・樋熊 紀雄君 11月2日結婚記念日のお花ありがとうございました。実は出かけていて今日見ることになりましたが・・・
- ・渡部剛士君 昨日11月4日は24回目の結婚記念日でした。お花を頂戴しありがとうございました。子供達からメッセージ入りのプレゼントをもらい思わず涙ぐんでしまいました。来年銀婚式をニコニコしながら迎えられるように頑張ります。
- ・職業奉仕委員会 高木言芳委員長、細野義彦大委員長先週、職業奉仕委員会主催の職場訪問が晴天にも恵まれ皆様の協力のもと、無事終了しました。ありがとうございました。
- ・本間 疆君 先週お願いしましたインターアクトクラブの献血キャンペーンで33名の皆様からご協賛を頂きました。ありがとうございました。先週ご欠席された皆様も宜しくお祝い致します。
- ・龍田晃一君 本日の卓話を「新潟アルビレックスBB」の平岡ヘッドコーチにお願いしました。昨年はあと少しのところまで優勝をのがしましたが、今年こそ、優勝を期待しています。ロータリアンの皆様、お孫さんやお子様を連れて応援に行きましょう。
- ・森井満男君、渡辺洋一君 東北楽天ゴールデンイーグルスの優勝を御祝い申し上げます。東北の被災者に大きな感動をあたえてくれました。更なる躍進を願って連名でニコニコします。
- ・坂本 光弘君 ついにやりました。東北楽天ゴールデンイーグルス、日本シリーズ優勝おめでとう。ハラハラドキドキの観戦でしたが、大きな元気をもらいました・・・ということでニコニコしています。

(12) 幹事報告(若槻 良宏幹事)

新潟ロータリークラブ年次総会を、12月3日に開催いたします。クラブ細則第一条第二節により告示致しましたので、出席をお願い致します。

(13) 卓話 「新潟での14年目」

新潟アルビレックスBB

ヘッドコーチ 平岡 富士貴 氏



(14) 本日の出席率 76.75 %

(2週間前メーク後 85.06 %)

11月5日 理事会報告 出席者9名

- 1 年次総会告示について
11月5日告示 12月3日年次総会
- 2 小木 順一郎君の出席規定運用免除依頼について
＝承認
- 3 地区役員の推薦について、以下のとおり推薦する。
・米山寄付増進委員長 宇尾野 隆君
・ロータリー地域協働ネットワーク副センター長 小林悟君
・ライラ委員会委員 吉田 和弘君
・ロータリー財団委員会学友会委員会委員 高橋秀樹君
・R財団委員会資金管理委員会及び奨学金委員会委員 得永 哲史君
- 4 2012-13年度 2560 地区決算の報告
- 5 入会被推薦者審査＝承認
SMBC日興証券(株)新潟支社長 中山 康君
- 6 11月のプログラム＝承認
11月 5日 卓話「新潟での14年目」
新潟アルビレックスBBヘッドコーチ
平岡 富士貴氏
11月12日 会員スピーチ「わたしとロータリー」
JTB 関東新潟支店長 遠藤 克也君
11月19日 講話「会員拡大について」
RI 会長代理 洪 武男 氏
11月26日 夜例会「ロータリー財団月間に因む話」
ロータリー財団副委員長 織戸 潔君
- 7 その他
・地区大会の決議案について
新潟ロータリークラブからは決議案を提出しないことに
する。

12月3日は「年次総会」です。

年次総会開催告示

新潟ロータリークラブ年次総会を下記により開催いたします

期日 平成二十五年十二月三日(火曜日・第一例会)

付議事項

一、次々年度会長並びに

次年度理事会メンバーの承認

以上クラブ細則第一条第二節により告示します

平成二十五年十一月五日

新潟ロータリークラブ

会長 山本正治

11月12日の例会予定

会員スピーチ 「わたしとロータリー」

JTB 関東新潟支店長 遠藤 克也 君

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrarc

グローバル補助金奨学生
イリノイ大学大学院アーバナシャンペーン校修士課程在籍
麩沢 美裕報告

グローバル補助金 2013年8,9月報告書

ロータリー奨学生のイリノイ大学大学院修士課程在籍中の麩沢です。まず初めに、グローバル補助金が無事承認され、多大なるご支援を頂きました新潟ロータリークラブの皆さんには、心より感謝申し上げます。

7月の終わりに渡米し、あっという間に9月が終わってしまいました。授業と課題で忙しい毎日を過ごしています。中間試験が終わり、現在は少し安堵しています。

こちらに着いてから、シャンペーンロータリークラブの郡司健様、奥様の郡司紀美子様大変お世話になりました。渡米直後に、イリノイ大学にある Japan House(日本館)に連れて行って頂きました。現在は、時折開催される日本関連のイベントに参加しています。

8月に、郡司健様とシャンペーンクラブの例会に参加させて頂きました。皆さんがとてもフレンドリーに私に接して下さったのがとても印象的です。日本に住んだことがある方や、私の専門分野(環境工学、水衛生工学)について話しかけてくださる方がいらっしゃいました。こちらの例会では、私はロータリー奨学生としてご紹介頂き、新潟ロータリークラブのご紹介をすると共に、新潟ロータリークラブとシャンペーンクラブのバナー交換をさせて頂きました。これにより、シャンペーンクラブの皆様にも日本や新潟に興味を持って頂くことができました。また、ロータリー奨学生として、例会にいつでも参加していいと言って頂きました。現在は、勉強が忙しくなかなか例会に参加することができていませんが、学業が落ち着き次第、再度参加したいと思っています。

以上を持ちまして、グローバル補助金の8,9月の報告書としたいと思います。



早くも10月も終わりを迎え、イリノイでは紅葉が始まりました。10月の半ばから急に寒くなり、雪も降り、中旬以降は最低気温がマイナスの日がほとんどでした。イリノイの冬は、 -20°C になることも多々あるそうです。

10月の例会では、ロータリークラブのガバナーの方がいらっしゃり、ご挨拶をしました。北海道にも訪れたことがあるそうで、日本について少しお話しをし、新潟のバナーをお渡ししました。

また、10月の初めに、イリノイ大学のキャンパスにある Japan House に行きました。福島出身の書道家千葉清藍さんがイリノイ大学に訪れ、書道のイベントを行いました。日本人の留学生だけではなく、他国からの留学生や地元の方々など、多くの方が訪れ、千葉さんの力強い書道に魅了されていました。千葉さんは「夢」という字をお書きになり、その漢字の成り立ちや、どういう背景から成り立っているのかということも言及し、私にとっても勉強になりました。その後、館内で実際に書道を行うスペースが用意され、多くの人で賑わっていました。鱒寿司などの日本食も用意され、私は久しぶりの日本食がとてもおいしく感じました。このイベントを通して、日本に興味がある方々とお話することができ、とても良い機会になりました。

このように Japan House では定期的に日本に関するイベント（生花や茶道、季節のイベントであるお月見など）が催され、積極的に日本の文化を広めている素晴らしい施設です。この施設を通して、私も日本文化に興味がある方と良い関係を築きたいと思います。

以上を持ちまして、グローバル補助金の10月の報告書としたいと思います。

